



テアトル9新年の集い

新しい人が6人参加 俳優座小山力也さんも

毎年恒例の「新年の集い」が1月12日（日）サンパル7階会議室で行われ、27人の人が参加しました。

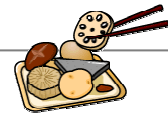
第1部は、若手の吉田維一弁護士から『特定秘密保護法？～新たな「改憲」の思惑～』と題して一時間余りお話を聞きました。わかりやすいレジメをもとにして、市民監視の怖さや、プライバシー情報の侵害、憲法9条に向けられた3本の矢、法案廃止へ動きや憲法への私たちの誓いなど、詳しく話してもらいました。

第2部は、参加者の手料理の持ち寄りも、毎年のことながら豪勢で、お酒を交えての懇談は時間が経つのも忘れるほど盛り上がりました。俳優座小山力也さんの飛び入りも、参加者には大きな驚きで、最後に記念撮影をして散会しました。

新年会に参加しての感想

～ 吉田弁護士の勉強会に参加し 新たな気持ち！ ～

昨年末、特定秘密保護法案が衆参で可決され、安部内閣は次のステップとして何を狙っているのか不気味な思いでしたが、改憲の動きを一旦止めて、9条があってもなくてもいいように骨抜きを狙っていたのですね。「政府の解釈」を変更し、「集団的自衛権」を認め、さらに「国家安全保障基本法」を成立させ、同盟国（米国）の要請があればどこでも派兵できるように、先制攻撃を含む防衛大綱を大転換させるとは！日米安保すら飛び越えた米国の言いなりの防衛政策です。お上の目線では私たちは虫けらみたいに思えるのでしょうか。吉田弁護士のお話を聞き終えて、特定秘密法保護法廃止の運動を大きく広げてゆかねばならないと痛感しました。（ハーモニーサークル 広沢）



名護市長選挙一陸にも海にも新たな基地はつくらせない 稲嶺さん 再選をする

名護市の辺野古の海は命あふれる海です。先祖代々の沖縄の海です。その海を埋め立てて、70年近く米軍基地があった沖縄に、なおも100年、200年も続く米軍基地をつくる。そんなおかしなことを、札東で押し付けようとした日米政府。沖縄の人びとのしごく当たり前の心が、基地ノーを高らかに宣言しました。（ちかまつサークル 米田）

— 憲法講座に参加して —

安倍内閣のもとで「憲法改正」とともに「集団的自衛権」のことが問題になっていますが、西神ニュータウン9条の会主催の憲法連続講座で、かもがわ出版編集長 松竹伸幸 氏の話は非常に参考になりました。

第1回目は「集団的自衛権」を口実に米ロ英の大国が自国の権益のためだけに次々と侵略をしていった歴史の話。第2回目では憲法9条がさまざまなことに役立っている話。

- ①「紛争の根源に立ち向かえる力」として、発展途上国に通常兵器の86パーセントを輸出している国が安全保障理事会の五常任理事国である中で、日本に対して国連開発計画の「アナン委員会報告」には軍事力よりも今まで日本が行ってきた開発援助を求めている。
- ②「紛争を生みだす武器を規制する力」として、毎年50万の命を奪う小型武器の規制を決めた国連による国際会議の議長として重要な役割を果たした猪口邦子氏の発言「困難な局面を乗り越えられたのは、三原則を持つ日本が議長国だったから。採択された瞬間、私は日本という国を誇りに思いました。（中略）」
- ③「紛争そのものを終結させる力」として、紛争当事者双方から武器を捨てさせた実績のある伊勢崎賢治氏の証言「これができたのは日本だからである。アメリカの他の同盟国では絶対できなかった。イギリスもできなかったらう。これはぼくだけの意見じゃない。（中略）アフガニスタンの軍閥は、われわれが行くと、例外なく言うのである『日本だから信用しよう』と。（中略）」。それは憲法九条のある平和国家だから。

最終回では再び戦争をする国をすすめている安倍政権に対抗する勢力を結集することが重要で、自衛隊を認めない人たちだけでなく、自衛隊を認める人たちとの連立づくりが必要なこと。など今の改憲勢力にどう対抗していけばいいのかといったことまで踏み込んだ話。そして、三年後の国政選挙で国政を変えるための具体的な展望を聞き、触発されました。話を聞けなかった方には、松竹氏の著書「集団的自衛権の深層」「憲法9条の軍事戦略」（平凡社新書）がお勧めです。（Qサークル G・K）



～ 芝居と平和 ⑤ ～

旅立とうとする青山半蔵が雨戸をガラリと開け、夜明け前の空をみながらつぶやく。「もうすぐ夜明けだよ」これは島崎藤村作、村山知義脚色の『夜明け前』の幕切れのせりふです。

1940(昭和15)年8月15日未明、滝沢修宅に特高警察が踏み込みます。「もうすぐ夜明けだ」ということは、もうすぐ日本に革命が起こることなんだろう、こういう芝居をやることによって共産主義思想を広め、日本の国家を転覆させて革命を起こそうと企んでいるのだろうと責め立て、治安維持法違反の判決で1年4ヶ月の獄中生活を送ります。

『夜明け前』は神戸労演で一部、二部をそれぞれ2回例会に取り上げられました。狂気になった青山半蔵がハスの葉を頭にのせて土間を歩くシーンは、今も脳裏に強烈に焼きついています。

神戸労演(現神戸演劇鑑賞会)の記録によると、滝沢さんは神戸労演の舞台に丁度40回立っておられます。この回数は現在の演劇状況ではとても考えられない数字です。演目別の回数を見ると『セールスマンの死』が4回、『炎の人』『るつぼ』が3回、『夜明け前』が一部、二部とも2回。いずれも滝沢さんの代表作で、練り上げられた発声と、重厚な様式性を持った卓越した演技で我々に訴えかけてきました。

特定秘密保護法、数に物言わせてのゴリ押し、それが通ってしまう国会。滝沢さんが現在の日本を見ると「この道はいつかきた道」とつぶやかれるに違いない。
(たかとりサークル 市村智孝)



《本の紹介》

「世界がもし100人の村だったら」

世界を100人に縮めた本です。私たちもこの村に生きています。その村を見ると全く違う私たちが見えてきます。そしてこの村を愛することを知ったなら、まだまだ間に合います。

池田香代子再話

C. ダグラス・ラミス対訳

《マガジンハウス社 定価838円》

☆ 姉妹編に「子ども編」「食べ物編」、他に「日本がもし100人の村だったら」(池上彰 協力・池田香代子)もあります。

西神ニュータウン9条の会

7周年のつどい

世界の中の日本

～世界がもし100人の村だったら～

日時 3月15日(土) 13時00分開演

場所 西区民センター 大ホール

資料代 500円

「集団的自衛権」連続講座のお知らせ

昨年可決された「特定秘密保護法」に関連し、国会で議論されている「集団的自衛権」について若手弁護士を講師に学習会WO下記の日程で予定しています。 3月30日(日) か 4月5日(土)

※ 日程が決まり次第お知らせします

※ 若手弁護士の会による寸劇「憲法ができるまで」のDVDも見ます。



☆お芝居大好き！九条の会～テアトル9 って何??

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き！九条の会～テアトル9」を作りました。

例会場「テアトル9コーナー」に
お立ち寄りください！

テアトル9グッズのプラバン、また賛同者の方にはニュースをご用意しています。カンパも大歓迎！

ご連絡は下記まで

児玉 090-8209-2391

米田 090-8658-8579

谷中 090-2101-4579



稀代の悪法「秘密保護法」を許さない！！に参加して

1月18日(土)神戸文化ホール(中)で、講演とトークが開催されました。(NHK問題を考える会主催)

羽柴修弁護士の秘密保護の講演とニュースキャスターの職人鳥越俊太郎さんの体験をふまえた話は身にしみました。また、羽柴、鳥越、司会の小山乃里子さんとの和やかな雰囲気での対談はうなずける場面がありました。

開場は満員で200名の人たちが会場に入ることが出来ずに帰りました。

